

## 平成25年度第2回瑞浪市子ども・子育て会議議事録

平成26年3月18日 午後2時00分から  
瑞浪市役所2階大会議室

**会長**：それでは第2回瑞浪市子ども・子育て会議を始めたいと思います。前回は、制度概要の説明を受けながら皆さんのご意見をいただきました。今回は、11月に実施しましたアンケートの結果を説明していただき、それを受けて皆さんのご意見をいただきながら会議を進めていきたいと思っております。これから会議に入りますが、皆さんの率直な意見を出していただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

では、議題の(1)瑞浪市子ども・子育て会議傍聴規定について事務局の説明をお願いします。

### 事務局より別紙資料により説明

**会長**：ありがとうございます。ご意見等があれば伺いたいと思います。無いようなので、説明のとおり平成26年3月18日付けで施行となります。

続きまして、議題(2)教育・保育提供区域の設定について事務局の説明をお願いします。

### 事務局より別紙資料により説明

**会長**：ありがとうございます。教育・保育の区域の設定について説明がありましたが、計画を進めるにあたって行政区域にするのか、小学校区域にするのか、中学校区域にするのかということで、事務局からは小学校区域にしてはどうかという案が出たわけですがいかがでしょうか。

**委員**：小学校区域が良いとする理由について、詳しく教えていただきたいです。

**事務局**：市の事業や計画等は、基本的に瑞浪・土岐・明世・稲津・陶・釜戸・大湫の8つの地区から成る行政区単位で実施していますが、大湫地区には教育・保育施設がありませんので、この8地区単位での計画の立案は難しいのではないかと考えています。

小学校区域であれば、釜戸地区と大湫地区が同じであるため、全地区に何らかの教育・保育施設が存在することになり、ニーズに対しての確保方策が検討しやすいため、小学校区域に合わせた方がいいのではないかと考えています。

**委員**：仮に小学校区域とした場合、みどり幼稚園が明世地区の児童を受入れなくなるのでしょうか。

**事務局**：区域の設定は、事業内容を区域で分けてしまうものではなく、あくまで事業を実

施していくうえでニーズ量や目標値を算出する場合等に、目安としやすい区域とお考え  
いただきたいと思います。

会長：その他意見等はありませんか。

(その他意見なし)

会長：それではご意見等ありませんので、事務局案のとおり小学校区域とするということ  
で承認してもよろしいですか。

(承認)

会長：続きまして、議題(3)子育て支援に関するアンケート調査結果についてと議題(4)  
教育・保育の「量の見込み」について事務局の説明をお願いします。

#### 事務局 及び 株式会社 名豊 より別紙資料により説明

会長：ありがとうございました。始めに議題(3)子育て支援に関するアンケート調査結  
果についてご意見等があれば伺いたいと思います。

事務局：アンケート結果の表の中で、集計しても100%にならないケースが見受けられるの  
で、端数調整をお願いします。

株式会社 名豊：アンケート結果が同じ件数あった場合、端数処理することによって同じ件  
数でありながら割合が異なるという結果になってしまうため、端数処理はしていません。

会長：表の中には、集計すると割合が130%以上となるケースもありますが、どのような理  
由でしょうか。

株式会社 名豊：アンケートの質問自体が複数回答も可となっているため、割合が100%を  
超えてしまうというケースがあります。

委員：アンケート結果を見ると、ファミリーサポート事業があまり普及されていないよう  
に思われるのでもっとアピールしていく必要があると思います。

委員：ファミリーサポートセンター事業の保育料は1時間700円で負担が大きいと感じてお  
り、利用が少ない理由の1つではないかと考えています。

また、ニーズ調査について、来年度から保育園の形態が変更になることに伴い、ニー  
ズも変わることが予想されるので、その部分も考慮に入れていくべきではないでしょ  
うか。

委員：ファミリーサポートセンター事業の利用が少ない理由の1つとして、(子どもを)預  
かっていただく方がどんな方なのかという情報がオープンになっていないことも挙げら  
れると思います。預かる方がどんな研修を受けていて、どんな人柄なのか等の情報を  
オープンにしていければと思います。

また、アンケート調査結果の中で、「保育の必要なし」と回答している方が多いことが  
気になりました。

株式会社 名豊：理由としては、働いていなかったり、短時間のパートであったりというご

家庭が多いということが考えられます。

**事務局：**また、働きたいけれど働けないという状況の方もみえると思います。ニーズ調査の中には、「将来は働きたい」という項目も設定されていますので、そのような方がみえれば、ニーズ有りとして計画立案に反映させていきたいと考えています。

**委員：**アンケート結果を見ると、「(学童クラブが) あることは有り難いが預ける気はない」という方も多く、これが現状ではないかなと考えています。もしもの時に使える場所があれば保護者の方も安心できると思います。1ヶ月の相場は1万円ですが、この金額を下げてしまうと保育の質が低下してしまう懸念もありますので、現状で利用したいと思われる方が、待機児童ということなく利用できるのが一番よいのではないかと思います。

また、このアンケートは児童の保護者が対象ですが、幼稚園や児童館などに勤務している現場の方の声に対して、お互いに相談し合える機会があると心強いと感じました。

**会長：**現場の声、保育の質というのは大変大事なことであると思います。現場の悩みや問題は色々あると思いますので、そのような声を聴きながら、市として計画を立案してほしいと思います。

**委員：**この会議は、ニーズに対して支援する計画を考えていく場だと思いますが、根本は親と子の時間が減ってしまっただけではいけないので、もっと親と子の時間が作れるような世の中にしていかなければいけないと感じています。

**委員：**アンケート調査でニーズはある程度把握できるかもしれませんが、親がどのように子育てをしたいかという意識についてはアンケートでは分かりませんし、親が子どもを預ける動機も調べていく必要があると思います。計画を立案するにあたっては、ニーズだけではなく、意識や動機もきちんと捉えていくことが重要ではないかなと思います。

**委員：**働いている保護者について、子どもが病気になっても仕事を休めなかったという事例がありましたが、そのような状況は望ましくないと感じられるので、事業所等にも働きかけをしていくとよいと思います。

**事務局：**アンケート調査では測れない部分について、どのように計画に反映させていくのかという部分はありますが、これからの子育てについて、会議としての方向性を示していければと考えています。また、ファミリーサポートセンター事業につきましては、少しでも多くの方に知っていただくということでアピールに力を入れていきたいと考えています。

**会長：**ありがとうございました。次に議題(4)教育・保育の「量の見込み」について、ご意見等があれば伺いたいと思いますが、資料の中にある「推計児童数」の数値はどのような数値でしょうか。

**株式会社 名豊：**過去の5年間の数値から将来の児童数を推計した数値になります。

**会長：**今後の計画の予定についてはどのようなようですか。

**株式会社 名豊：**子ども子育て支援事業計画というものが今後策定されていくこととなりますが、事業計画としては、保護者の視点からだけではなく、子ども側の視点も必要に

なってくると思います。

また、ワークライフバランス等についても盛り込んでいく必要があると思います。

**事務局**：計画については、あと1年かけて策定する予定ですが、細かいスケジュール等は今後、株式会社 名豊と打ち合わせを重ねながら、皆さんと一緒に策定していきたいと考えています。

また、市主導の計画ではなく、皆さんのご意見等が反映された計画を策定していきたいと思しますのでご協力をお願いいたします。

**会長**：ありがとうございました。これをもちまして会議の議題は全て議了いたしました。

本日は、ニーズの問題など大きな課題について議論ができたと思います。この計画は平成26年度中に策定していくということで、また皆さんのご意見等を伺いながら進めていきたいと思しますのでよろしくをお願いいたします。

以 上